

2019年度 英語・数学・国語

受 験 学 科	試 験 教 科 (2教科試験)	試験時間
日 本 語 学 科 中 国 語 学 科 ホスピタリティ・ツーリズム学科	英語 (リスニングを除く)・国語	120分
英 米 語 学 科	英語 (リスニングを含む)・国語	135分
経 済 学 科 不 動 産 学 科	英語 (必須) 選択教科(国語・数学から1教科選択)	120分
口 腔 保 健 学 科	英語 (必須) 選択教科(物理・化学・生物・数学から1教科選択) ※物理・化学・生物は別冊子	120分

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 試験問題は42ページあります。
- 3 試験中に問題冊子及び解答用紙の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 4 監督者の指示に従って、必ず解答用紙2枚すべての所定欄に氏名、フリガナ、受験番号、生年月日を記入し、マークしてください。また、選択教科の解答用紙は解答する教科をマークしてください。
- 5 上の表に従い2教科を解答してください。
- 6 受験番号、教科が正しくマークされていない場合、採点できないことがあります。
- 7 解答は、解答用紙の解答欄にマークしてください。例えば

20

 と表示のある解答箇所に対して3と解答する場合は、次の(例)のように解答番号20の解答欄の3をマークしてください。

(例)

解 答 番 号	解 答 欄												
20	<table style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; width: 15px; height: 15px; text-align: center;">1</td> <td style="border: 1px solid black; width: 15px; height: 15px; text-align: center;">2</td> <td style="border: 1px solid black; width: 15px; height: 15px; text-align: center;">3</td> <td style="border: 1px solid black; width: 15px; height: 15px; text-align: center;">4</td> <td style="border: 1px solid black; width: 15px; height: 15px; text-align: center;">5</td> <td style="border: 1px solid black; width: 15px; height: 15px; text-align: center;">6</td> <td style="border: 1px solid black; width: 15px; height: 15px; text-align: center;">7</td> <td style="border: 1px solid black; width: 15px; height: 15px; text-align: center;">8</td> <td style="border: 1px solid black; width: 15px; height: 15px; text-align: center;">9</td> <td style="border: 1px solid black; width: 15px; height: 15px; text-align: center;">0</td> <td style="border: 1px solid black; width: 15px; height: 15px; text-align: center;">-</td> <td style="border: 1px solid black; width: 15px; height: 15px; text-align: center;">*</td> </tr> </table>	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	-	*
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	-	*		

- 8 英米語学科受験者のみ、試験時間の最後の15分間で、音響設備を使って「リスニング」のテストを行います。解答番号は41番～50番です。
- 9 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。
- 10 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってはいけません。

国

語

第一問

次の文章を読んで、後の問い（問一～問六）に答えよ。（配点50）

問題文については、著作権の関係から掲載いたしません。

問一 空欄

1

にあてはまる語句として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は

1

。

① あたかも

② あながち

③ いかにも

④ なるほど

⑤ まんざら

問二 空欄

2

(二か所ある)にあてはまる語句として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は

2

。

① 五感

② 同感

③ 満足感

④ 共感

⑤ 反感

問三 この文章で述べている内容について記したものとして、ふさわしくないものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 3。

- ① 「モフモフ」というオノマトペは目にする機会が増えてきたが、まだ紙の辞書には載っていない。
- ② 「モフモフ」という語が急速に広まった要因の一つは、毛並みが豊かな動物の人気と関係がある。
- ③ 物事を感覚的にとらえるオノマトペが豊富であることは、日本語の語彙の特徴の一つである。
- ④ 自分が感じているままの感覚を相手に伝えたいという思いが、新しい言葉を生む原動力になる。
- ⑤ 「モフモフ」という語の音の響きは、「フワフワ」や「フサフサ」よりも優しくてあたたかい。

問四

次の a ～ d の傍線部と同じ漢字を含むものを、各群の①～⑤のうちから、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は

4

～

7

。

a キセイ事実を作り上げる。

b キョウコウな態度を貫く。

c 地域をキョクゲンして実施する。

d 品質をホシヨウする。

a キセイ

4

① キセイ緩和を推進する。

② 総裁の続投はキテイ路線であった。

③ タイキバンセイのタイプ。

④ キをてらった企画に走る。

⑤ キジヨウの空論を展開する。

b キョウコウ

5

① コウジヨ良俗に反する行為。

② コウオツつけがたい出来ばえ。

③ コウシキ野球の試合。

④ 福利コウセイ施設の充実。

⑤ コウシユに大活躍した。

c
キヨクゲン

6

- ① シュギョクの名作。
- ② キヨクジツ昇天の勢い。
- ③ 紆余キヨクセツの末の結論。
- ④ 賛否がリヨウキヨクタンに分かれる。
- ⑤ チホウキヨクのネットワーク。

d
ホシヨウ

7

- ① バイシヨウ責任を負う。
- ② イシヨウを凝らした新作。
- ③ シヨウミ期限が迫る。
- ④ シヨウニンとして喚問する。
- ⑤ スイシヨウされた機種を購入する。

問五 次の a ～ d の空欄にあてはまる語句として最も適当なものを、それぞれあとの①～⑦のうちから一つずつ選べ。同じ記号を

二度用いてはならない。解答番号は ～ 。

d	c	b	a
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
同音に称賛する。	雑言を並べ立てる。	伝心の間柄。	投合する。
<input type="text" value="11"/>	<input type="text" value="10"/>	<input type="text" value="9"/>	<input type="text" value="8"/>

- ① 悪口
- ② 以心
- ③ 異心
- ④ 意気
- ⑤ 一身
- ⑥ 以後
- ⑦ 異口

問六

次の a ～ d の空欄にあてはまる語句として最も適当なものを、それぞれあとの①～⑦のうちから一つずつ選べ。同じ記号を二度用いてはならない。解答番号は ～ 。

- a 車両故障で足留めを 。
- b みんなで足並みを 必要がある。
- c 浮かれていて足を 。
- d 遠くまで足を 。
-

- ① 清める
- ② 食われる
- ③ 運ぶ
- ④ 揃える
- ⑤ すくわれる
- ⑥ 食う
- ⑦ はせる

第二問

次の文章を読んで、後の問い（問一～問九）に答えよ。（配点50）

問題文については、著作権の関係から掲載いたしません。

問題文については、著作権の関係から掲載いたしません。

問題文については、著作権の関係から掲載いたしません。

問題文については、著作権の関係から掲載いたしません。

問題文については、著作権の関係から掲載いたしません。

問一 傍線部1 それだけでも足りなかった とあるが、その説明として、最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

解答番号は 16。

- ① 参勤交代をして過剰なエネルギーを発散させるだけでは、存在意義を失った武士を十分に満足させられなかった。
- ② 大変な浪費をして参勤交代をするだけでは、武士の過剰なエネルギーや情熱を発散させるのに十分ではなかった。
- ③ 武士が人々に慕われるためには、最上位の階級を与えるという江戸のシステムを導入するだけでは足りなかった。
- ④ 江戸システムとして階級制を導入するために、存在意義を失った集団だけを対象とするのでは十分ではなかった。
- ⑤ 時代からずれてしまった集団に参勤交代という浪費をさせるためには、過剰なエネルギーだけでは足りなかった。

問二 傍線部2 全く同じこと とあるが、その説明として、最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は

17。

- ① 想像以上に長い時間をかけて暴力を美化する考え方を持った武士の後始末をしてきたこと。
- ② 時代から既にずれてしまった集団が、倫理とか美学とかにこだわり死を美化し続けたこと。
- ③ 暴力性の美化など社会性に欠けるような集団主義が、時代が変わっても存在し続けたこと。
- ④ その時代での存在意義を失った集団であるにもかかわらず、社会の主役であり続けたこと。
- ⑤ 時代から取り残されようとしている人間を時代に適応させるために集団主義を続けたこと。

問三 傍線部3 僕は現代の武士だと考える とあるが、どのような点で筆者はそう考えているのか、その説明としてふさわしく

ないものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 18。

- ① 建設業者が中心となって成長拡大していく時代はやがて終焉したから。
- ② 建設業は、江戸時代から庶民の生活を支えてきた産業のひとつだから。
- ③ 戦後の経済成長を促進する役目を終えた後も社会に温存されてきたから。
- ④ それぞれの時代で政治と結託して自集団の存在意義を維持してきたから。
- ⑤ ある時代が過ぎた後でその集団の存在の必要性が急激になくなったから。

問四 傍線部4 違う展開を迎えた とあるが、その理由として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は

19。

- ① アメリカ社会は日本社会とは異なり社会的指標が反転することはなかったから。
- ② 日本では勤労者に対する尊敬の念が根本的にあり、脇役も大事にしたから。
- ③ 歴史に対する考え方が日米では異なり日本は歴史上の主役を大切にしていたから。
- ④ アメリカは20世紀になってから合理的な考え方が主流となっていたから。
- ⑤ 日本社会では一度主役になった集団に対しては温存する風土があったから。

問五 傍線部5 お題目 とあるが、それを説明するものとして最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は

20。

- ① 政治利用のための社会的なスローガン
- ② 政治家と共謀するための耳触りのよい名目
- ③ 環境保全のために都合のよい大義名分
- ④ 構築した集票システムの好感度の高い名前
- ⑤ 建設事業の推進を正当化するための理由

問六 空欄

A

く D

にあてはまる語句として最も適当なものを、それぞれ次の①～⑤のうちから一つずつ選べ。同

じ記号を二度用いてはならない。解答番号はAが 21、Bが 22、Cが 23、Dが 24。

① まるで

② むしろ

③ かたや

④ ひたすら

⑤ 知らず知らずのうちに

問七

傍線部6

「郊外の夢」

とあるが、その内容として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 25。

① 野山を総合開発することで郊外に都会的な住宅と職場を作っていくこと。

② 建設業界と自動車業界で郊外での自然あふれる快適な生活を提供すること。

③ 成長拡大の時代がこれまで通り続いていき郊外が一層開発されること。

④ 郊外にある住宅に住み自動車を使って都市へと通勤する生活をする事。

⑤ 大量に作られた郊外団地に住んで自然に囲まれた生活を維持していくこと。

問八 傍線部7 日本^の武士たち とあるが、この場合の「日本の武士たち」が指している内容として最も適当なものを、次の①～

⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 26。

- ① 存在意義を失ったが美学を追求する武士集団
- ② 既に実質的な主役ではなくなっている建設業者
- ③ 製造業に代わって台頭してきたサービス業者
- ④ 社会のリーダーのポジションにある自動車産業
- ⑤ 拡大政策時代の主役であるITや映像系の人々

問九 傍線部8 しっかり往生させてやらなければ、日本は救われない とあるが、この場合の「往生させる」の内容として最も

適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 27。

- ① 新たな社会システムを作ることと別の形で活躍できるような場を与える。
- ② 現在の時代が望むような政治と共謀させて新たな社会のエンジンとさせる。
- ③ 競争の激しい社会で戦闘集団らしく互いに戦わせて亡き者にする。
- ④ すでに社会の花形ではないことを明確にして脇役の位置に降ろす。
- ⑤ これまでのやり方はやめさせ少子高齢化社会に適した仕事をさせる。